

## 通 教 月 報

## 診 療 情 報 管 理 研 究

令和 2 年 3 月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.jha-e.com/>受付時間 10:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)発行日 毎月 1 日  
定 価 1 部 150 円 1 ヵ年 1,600 円(税込・送料込)  
郵便振替 00190-5-396045  
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

## 診療情報管理士の事務局員

横堀 由喜子

一般社団法人日本病院会 教育部 部長

事務局の横堀由喜子です。委員長の武田隆久先生より、3月号の巻頭言を担当するようご指示があり、張り切って執筆させていただきました。

30年ほど前、私は皆さんと同じ、通信教育(当時、診療録管理通信教育)の受講生でした。そのことが縁で日本病院会に入社しました。日本病院会の職員には、有資格者がおりませんでしたので、幸いにも勤務年数の殆どを「診療情報管理」一筋に担当させていただくことができました。私がお世話した受講生の中には、いつの間にか立派に通信教育の講師となられたり、日本診療情報管理学会の理事にまでなられた方も多くいらっしゃいます。いつの時代も受講生の成長を嬉しく拝見しておりました。

また、一方で、病院で恵まれない受講生や診療情報管理士、なかなか合格できずにいる方、やむなく途中でリタイアされる方など、様々な事情の受講生もいらっしゃり、お話しを伺っては励ましたり、何とかならないものかと色々な企画を通信教育や学会で練ったりもしてきました。しかし、今振り返りますと「診療情報管理士」と言う職種そのものは大きく成長してきたことは間違いありません。

30年前の診療情報管理士(当時、診療録管理士)の多くは、カルテの出し入れやそれを綴じる作業(物の管理)に追われていました。ある時、東京の大きな病院に見学に行った時のことでした。大病院の診療録管理はどのように行われているのかとワクワクして向かったのですが、見学場所は病院の中ではなく、敷地内に立っていたプレハブの中でした。2人の診療録管理士が山のようなカルテに穴を明け、「紙縫り(こより)」で綴じていました。今ではどうでしょう。電子カルテやシステムの電子化された環境の中、多くのデータや情報を様々な提供できる業務となり、診療報酬の点数も付き、社会的地位も大きく向上してきたと思います。

そして今、認定者は3万7千人を超え、とても嬉しい反面、「診療情報管理士」を目指す皆様に、私の心配から一つお願いしたいことをお伝えします。この資格は更新制があるわけではなく、資格を取ったらそのままの方がほとんどです。情報を管理する「診療情報管理士」がそれでは困ります。1年前の情報が1年後に全く変わっていることなどたくさんあり、この診療情報管理の世界でも新しい情報やテクニックがどんどん出てきます。

例えば、ICDも昨年5月にWHO(世界保健機関)で電子化され、内容も大きく変わった「ICD-11」として承認されました。このICD-11には、V章にICF(生活機能分類)が入り、近い将来ICHI(医療行為分類)等も加わる方向にあります。診療情報管理士に関係する「分類」だけでも全く新しいものになり、更新もされていきます。どんな職種も変化について行かねばなりません、精度の高い情報管理と提供を求められる診療情報管理士は更に情報、知識、テクニックなどの変化に対応し、成長し続けて行かなければなりません。

2018年、日本診療情報管理学会では、診療情報管理士のための卒後教育プログラムを国際標準カリキュラムに合わせて作成し、2020年度からweb教育を行う予定です。この教育は、皆様に常に新しい知識、スキルを提供していく卒後教育となりますので、是非、活用していただきたいと思っています。

皆様には、資格を取った時の知識のままで止まっている「診療情報管理士」にならないように、「時代に求められる診療情報管理士」になっていただきたいと思っています。

私は、この通信教育を30年前に受講した時、病院勤務者でもない主婦でした。講師の先生方のお話しは宇宙の言葉のように理解し難く、周りの受講生は医療界の方ばかりで遠い存在でした。主婦でしたので仲間もいませんでした。自分は一歩できが悪いだろうと確信していましたので、他の人より何倍も勉強しないと合格できないと思っていました。結果、何倍も勉強できたかは分かりませんが、主婦であっても合格できました。私の勉強は、誰も指導してくれる病院人が周りにいませんでしたので、「講義、教科書、レポート問題」だけでした。皆さんのお勉強の参考となれば幸いです。

診療情報管理士通信教育と診療情報管理士の更なるご発展を願っております。

